

2020 会 告 No.2



上記QRコードより会告のPDF版を閲覧できます。

◇通知・案内事項

- 化学工学会第85年会 参加募集…………… 本号4ページ
- 第22回化学工学会学生発表会(東京大会・岡山大会)概要…………… 本号7ページ

◇本部・支部大会行事の開催予定

	(2020)
◇年会	3/15～17(関西大学)
◇秋季大会	9/24～26(岩手大学)
◇支部大会	
◇学生発表会(東地区)	3/7(中央大学)
(西地区)	3/7(岡山大学)

◇本部・各支部・部会行事 (「ゴシック」は新規掲載分および修正分)

行事プログラムの掲載は1回限りです。既載行事はカレンダー会告ページ(または各支部ホームページ)をご参照下さい。

開催年月日	行 事	申込締切	会 告 ページ
2020年2月 February			
未定	山口地区化学工学懇話会第74回講演会・見学会(山口県)		
4	2019年度第5回グローバルテクノロジー委員会(愛知県)		1号6
6	開発型企業の会 2019年度第5回技術交流会(東京都)		1号7
6～7	GMPセミナー「医薬品製造に関わるGMPの最新動向：講演会&見学会～連続製造技術と装置設計における品質保証～」(大阪府)		12号12
7	第18回上席化学工学技士交流会(大阪)(大阪府)	2月4日(火)	12号5
8	第4回「しごとの常識」塾 ～基本編①感受性～(京都府)	2月3日(月)	12号5
10	SCE・Net第123回技術懇談会(東京都)		1号7
17	第11回ホットな話題の講演会「気液固分散のオペレーションとデザインの現在と未来」(埼玉県)	2月3日(月)	1号8
17	神奈川地区見学講演会「最新タービン技術とその展開」(神奈川県)		1号8
18	第117回東海技術サロン(CSTCフォーラム) 「だれ一人取り残されないために＝僕の国キリバスからのメッセージ＝」(愛知県)		1号9
21	第8回「若手研究者・技術者を対象とした工場見学および交流会」(大阪府)	2月7日(金)	本号8
28	CVD反応分科会 第4回講習会「CVD・ALDプロセスの基礎」(東京都)	2月21日(金)	1号7
2020年3月 March			
5～6	「バッチ操作を伴うプロセス設計」講座(東京都)		1号6
7	第22回化学工学会学生発表会東京大会(東京都)	2月14日(金)	本号7
7	第22回化学工学会学生発表会岡山大会(岡山県)	2月14日(金)	本号7
9	第17回キンカ高分子化学研修コース(大阪府)		1号9
14	第5回「しごとの常識」塾 ～応用編①情報としごと～(大阪府)	3月9日(月)	12号5
15	2019年度インターンシップ報告会(大阪府)	2月28日(金)	本号7
15	令和2年度粒子・流体プロセス部会 総会・部会セミナー(大阪府)	3月2日(月)	本号8
15～17	化学工学会第85年会(大阪府)	2月15日(土)	本号4
17	第21回気液固分散工学サロン(大阪府)	3月5日(木)	本号8
26～27	第21回化学工学基礎講習会(初習者対象)(山口県)	3月5日(木)	本号9
30	第21回化学工学基礎講習会(初習者対象)(山口県)	3月5日(木)	本号9
2020年9月 September			
24～26	化学工学会第51回秋季大会(岩手県)		

◇国際交流行事

会 期	行 事 名	申込締切	会告ページ
3月15～17日(日～火)	International Chemical Engineering Symposia 2020 (IChES 2020) (大阪府)		1号6

◇共 催・協 賛 行 事(本カレンダーのみのご案内です。詳細は各問合せ先へ直接ご照会下さい。「ゴシック」は新規掲載分)

行 事(場 所)	開催期日	問合せ先	電話番号(FAX) E-mail, URL
第191回 腐食防食シンポジウム －わが国における腐食コストの推定結果と腐食コスト削減へのシナリオ－(東京都)	2月13日(木)	腐食防食学会・日本防錆技術協会	03-3815-1161 (03-3815-1291) ysm.hng-113-0033@jcorr.or.jp
令和元年度産総研材料・化学シンポジウム 「21世紀の化学反応とプロセス－「橋渡し」の次のSTEPへ：企業の連携の拡充に向けて」(茨城県)	2月14日(金)	産業技術総合研究所	029-862-6792 isc-web-ml@aist.go.jp http://unit.aist.go.jp/ischem/index.html
第190回腐食防食シンポジウム 自動車腐食防食の現状と課題 －第2回自動車腐食分科会の活動報告－(東京都)	2月18日(火)	腐食防食学会	03-3815-1161 (03-3815-1291) ysm.hng-113-0033@jcorr.or.jp
第42回2020産業安全対策シンポジウム(東京都)	2月18～21日 (火～金)	日本プラントメンテナンス協会・日本能率協会	03-3434-1410 (03-3434-3593) tech-con@jma.or.jp
第192回 腐食防食シンポジウム－わが国における腐食コストの推定結果と腐食コスト削減へのシナリオ－(大阪府)	2月21日(金)	腐食防食学会・日本防錆技術協会	03-3815-1161 (03-3815-1291) ysm.hng-113-0033@jcorr.or.jp
腐食防食部門委員会 第333回例会 『銅および銅合金の腐食事例』(大阪府)	3月2日(月)	日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@jsms.jp
第34回エレクトロニクス実装学会 春季講演大会 (神奈川県)	3月3～5日(火～木)	エレクトロニクス実装学会	03-5310-2010 (03-5310-2011) ishikawa@jiep.or.jp https://confit.atlas.jp/guide/event/jiep2020s/top
第1回世界エンジニアリングダイ記念シンポジウム ～ダイアログ：持続可能な成長のための工学の未来～(東京都)	3月5日(木)	日本工学会	03-6265-0672 (03-6265-0673) eng@jfes.or.jp http://www.jfes.or.jp/
第3回安心・安全・環境に関する計算理工学国際会議 (COMPSAFE2020) (兵庫県)	3月8～11日 (日～水)	COMPSAFE2020実行委員会	secretary@compsafe2020.org http://www.compsafe2020.org
第12回先進プラズマ科学と窒化物及びナノ材料への応用に関する国際シンポジウム (ISPlasma2020) / 第13回プラズマナノ科学技術国際会議 (IC-PLANTS2020) (愛知県)	3月8～11日 (日～水)	応用物理学会	052-581-3241 (052-581-5585) isplasma2020@intergroup.co.jp http://www.isplasma.jp/
19-1 高分子と水・分離に関する研究会 『2019年度界面動電現象研究会』(東京都)	3月9日(月)	高分子学会 高分子と水・分離に関する研究会	03-5540-3771 (03-5540-3737) https://member.spsj.or.jp/event/
公開シンポジウム「総合工学シンポジウム2020 －文理の協創によって社会的課題に立ち向かう－」 (東京都)	3月12日(木)	日本学術会議 総合工学委員会	03-5841-6960 (03-5841-0651) SCJ_sogo2020symp@save.sys.t.u-tokyo.ac.jp
第70回粉体技術専門講座～食品粉体に関わる先端技術～ (東京都)	3月13日(金)	日本粉体工業技術協会	075-354-3581 (075-352-8530) senmon@appie.or.jp https://www.appie.or.jp/FS-APL/FS-Form/form.cgi?Code=senmon1
第54回日本水環境学会(岩手県)	3月16～18日 (月～水)	日本水環境学会	http://www.jswe.or.jp/event/lectures/2019per.html
第11回日本複合材料会議(JCCM-11) (大阪府)	3月17～19日 (火～木)	日本材料学会, 日本複合材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@jsms.jp http://www.jsms.jp

生産システム部門研究発表講演会2020(東京都)	3月26～27日 (木～金)	日本機械学会	03-5360-3503 (03-5360-3508) kumagai@jsme.or.jp http://www.jsme.or.jp/msd/
第125回触媒討論会 特別シンポジウム(東京都)	3月27日(金)	触媒学会	03-3291-8224 (03-3191-8225) secretariat@shokubai.org http://www.shokubai.org/general/kaikoku/200327sympo.pdf
技術セミナー 「圧力容器に関する国内規格とASME規格の動向と解説」 (東京都)	4月15日(水)	日本高圧力技術協会	03-3516-2270 (03-3516-2271) tanaka@hpij.org http://www.hpij.org/
酵素工学会 第83回講演会(京都府)	4月17日(金)	酵素工学会	075-753-6462 (075-753-6462) enzyme@adm.kais.kyoto-u.ac.jp http://www.enzyme-eng.com
第37回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会(東京都)	4月21～22日 (火～水)	日本空気清浄協会	http://www.jaca-1963.or.jp/
第21回マリンバイオテクノロジー学会大会(東京都)	5月30～31日 (土～日)	マリンバイオテクノロジー学会	mbt2020@m2.tuat.ac.jp http://marinebiotechnology.jp/mbt2020/
20-19講演会「第25回動力・エネルギー技術シンポジウム」 (北海道)	6月18～19日 (木～金)	日本機械学会 動力エネルギーシステム部門	smiwa@eng.hokudai.ac.jp https://www.eng.hokudai.ac.jp/edu/div/eneenv/PES25/index.html
第57回アイソトープ・放射線研究発表会(東京都)	7月7～9日(火～木)	日本アイソトープ協会	03-5395-8081 (03-5395-8053) gakujutsu@jrias.or.jp https://www.jrias.or.jp/
メンテナンス・レジリエンス OSAKA2020(大阪府)	7月29～31日 (水～金)	日本プラントメンテナンス協会, 日本能率協会	03-3434-1988 (03-3434-8076) mente@jma.or.jp
The 9th International Symposium on Surface Science (ISSS-9) (香川県)	11月15～19日 (日～木)	日本表面真空学会	(03-3812-2897) iss9@jvss.jp http://www.jvss.jp/iss9
2020環太平洋国際化学会議(PACIFICHEM2020) (ハワイ州ホノルル)	12月15～20日 (火～日)	日本化学会	03-3292-6163 sakurada@chemistry.or.jp https://pacificchem.org
The 7th International Conference on the Characterization and Control of Interfaces for High Quality Advanced Materials (ICCCI2022) (山梨県)	2022年7月5～8日 (火～金)	粉体工学会	045-339-3959 (045-339-3957) iccci2022@ynu.ac.jp http://ceramics.ynu.ac.jp/iccci2022/

化学工学会第85年会 参加募集

会 場：関西大学 千里山キャンパス(〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号)
 会 期：2020年3月15日(日)～3月17日(火)
 懇 親 会 会 場：関西大学 千里山キャンパス 凜風館
 懇 親 会 日 時：2020年3月16日(月)18:00～20:00
 事前参加登録期間：第二期 2020年2月1日(土)～2月15日(土)23:59
 ※事前参加登録終了後は当日参加登録をご利用ください。
 大会WebサイトURL：<http://www3.scej.org/meeting/85a/>
 ※参加登録は上記webサイトからのみ受け付けます。

化学工学会第85年会は、2020年3月15日(日)～17日(火)の3日間、関西大学千里山キャンパスにおいて開催されます。
 本大会では、事前参加登録期間が二つあり、それぞれ参加費、懇親会費ならびに支払期限等が異なりますのでご注意ください。
 なお、本大会に参加登録された方は、本大会と同地・同日程で併催される国際会議 International Chemical Engineering Symposia 2020 (IChES 2020)へもご参加いただけます。
 奮ってご参加いただきますよう、よろしくお願いたします。

- ◇開会挨拶
- ◇名誉会員推戴式
- ◇会長挨拶
- ◇学会賞等授賞式
- ◇学会賞受賞記念講演

懇親会

日時 3月16日(月)18:00～20:00
 場所 関西大学 千里山キャンパス 凜風館

企画紹介

詳細は、大会webサイトまたは次号(3月号)会告をご覧ください。

学会賞等受賞記念講演

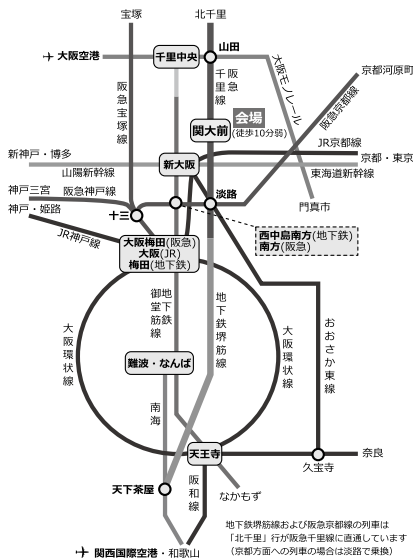
- ◇学会賞(開会式で実施)
 - ・船造俊孝氏(中央大学)
研究題目「高压流体の輸送物性の測定と推算」
- ◇研究賞(関連セッションで実施)
 - ・馬越 大氏(大阪大学)
研究題目「膜場を活用するBio-Inspired 化学工学に関する研究」
 - ・北川尚美氏(東北大学)
研究題目「難水溶性エステル合成を対象とした反応プロセス工学研究」
- ◇研究奨励賞(関連セッションで実施)
 - ・能村貴宏氏(北海道大学)
研究題目「次世代高温潜熱蓄熱・熱輸送技術の開発」
 - ・廣田雄一朗氏(大阪大学)
研究題目「イオン液体の特性を示すオルガノシリカ膜の開発とそのガス・蒸気透過機構評価に関する研究」
 - ・藤井達也氏(産業技術総合研究所)
研究題目「超臨界二酸化炭素を溶媒とした高速連続抽出分離技術の開発」

- ・ダーとしての活動」
 - ・栗原和枝氏(東北大学)
業績題目「材料科学のための表面力測定展の展開」
- ◇アジア国際賞(国際シンポジウムで実施)
 - ・Amornchai Arpornwichanop 氏 (Chulalongkorn University)
業績題目 “Analysis and Design of Solid Oxide Fuel Cell Systems for Highly Efficient Power Generation”
 - ・Yongsheng Han氏(Chinese Academy of Science)
業績題目 “Rational Synthesis of Materials by Controlling Chemical Diffusion and Reaction”
 - ・Praveen Linga 氏 (National University of Singapore)
業績題目 “Clathrate Hydrate, what can Engineers do with it?”
 - ・Hsing-Yu Tuan氏(National Tsing Hua University)
業績題目 “Nanomaterials as High-Capacity Rechargeable Battery Electrodes”

事前参加登録

大会webサイトからお申込みください。
 事前参加登録期間：
 第二期 2月1日(土)～2月15日(土)23:59まで

会場へのアクセス



注意事項

会場内は喫煙場所を除いて全面禁煙です。ご協力ください。

開会式等

日時 3月15日(日)9:00～
 場所 関西大学 千里山キャンパス BIGホール100

化学工学ビジョンシンポジウム

◇第5回 SDGs達成に向けた札幌宣言の実行
 日時 3月15日(日)午後

化学産業技術フォーラム

◇高経年化した化学装置の余寿命の評価およびその延長
 日時 3月17日(火)午前
 日本の化学プラントは新設されることは稀となり、如何にその寿命を延長しながらも安全に操業していくか、が鍵となっています。化学装置材料部会で議論してきた高温・高压で用いられる金属材料のクリープ余寿命評価や、有機材料の寿命評価や有機材料での補修による寿命延長といった話題を中心に、損傷の事例やコストといった操業現場の実態を交えながら、化学装置の高経年化における問題とその寿命延長に関するシンポジウムを行います。

産業セッション

日時 3月16日(月)、17日(火)
 ◆口頭セッション
 ◇日本の産業を支える技術イノベーション
 ◇高度生産システム検討委員会成果報告
 ◇海外留学生と企業との就職に関する交流会
 ◇日本のモノづくりを取り戻す革新型生産プロセス - フロー連続生産 -
 ◇化学関連産業の経営課題 - SDGsとサーキュラーエコノミー -

- ◇脱化石資源に向けたプラスチックサプライチェーンへの挑戦
- ◇未来に向けたAI技術の活用と地道な現場力向上への取り組み
- ◇忘れてはいけない単位操作 - (分離技術の事例と最新動向) -

◆ポスターセッション

- ◇未来に向けたAI技術の活用と地道な現場力向上への取り組み
- ◇忘れてはいけない単位操作 - (分離技術の事例と最新動向) -

国際シンポジウム

◇持続可能社会構築へ向けた最近のガスハイドレート研究

日時 3月15日(日)午後, 16日(月)午前
 主催 基礎物性部会, 超臨界流体部会
 エネルギー資源としてだけでなく、ガス分離、貯蔵・輸送、蓄熱、海水淡水化などの分野でも応用利用が期待されているガスハイドレートに関する国際シンポジウムを開催します。2019年度SCEJアジア国際賞を受賞されたシンガポール国立大学のProf. Praveen Linga氏の受賞記念講演の他、国内外の大学・企業の研究者をお招きして、最新の研究内容をもとに、持続可能社会構築に必要なガスハイドレートの基礎物性、応用技術について幅広い分野の方々を知っていただくとともに、議論を深めます。

◇エネルギー変換・貯蔵の最前線 - ナノ材料合成 -

日時 3月16日(月)午前
 主催 材料・界面部会
 2019年度のアジア国際賞を受賞されたHsing-Yu Tuan先生をお招きし、ナノ材料の合成とエネルギー分野への展開に関する国際シンポジウムを開催します。二次電池、燃料電池、水素生成、太陽電池、二酸化炭素貯蔵などに関するナノ材料合成に取り組むアジアの著名な研究者を招待して、ナノ材料合成およびエネルギーデバイスへの展開の最新の研究動向について議論します。また、本シンポジウムは「エネルギー変換・貯蔵の最前線 - システム・デバイス -」と連携して開催します。

◇エネルギー変換・貯蔵の最前線 - システム・デバイス -

日時 3月16日(月)午後
 主催 エネルギー部会
 燃料電池や二次電池、次世代電池のデバイス化やシステム化、またエネルギー貯蔵や輸送プロセスに関する国際シンポジウムを開催します。アジア国際賞を受賞されたタイ Chulalongkorn大学のAmornchai Arpornwichean氏の基調講演をはじめとして、デバイス化やシステム化に立脚して、電池・電気化学分野の研究に取り組まれている先端研究者を国内外からお招きして、関連研究者とともに基礎研究から応用まで広い内容で議論することで、本分野の発展に貢献することを目指します。なおシンポジウムは「エネルギー変換・貯蔵の最前線 - ナノ材料合成 -」と関連するものです。

◇反応を利用した粒子製造プロセス

日時 3月17日(火)午前
 主催 材料・界面部会
 反応晶析を利用した無機化合物の粒子製造に関する国際シンポジウムを開催します。アジア国際賞2019を受賞されたYongsheng Han先生の基調講演や反応晶析に関する招待講演に加え、二次電池の材料として利用される無機化合物の

製造法について議論します。

戦略企画センター 次世代エネルギー社会検討委員会・CCUS研究会企画
 「産業部門からのGHG排出大幅削減の可能性とCCUS技術の貢献」

日時 3月16日(月)
 温室効果ガス(GHG)排出80%削減という2050年目標に向けた技術オプションとイノベーションに対する関心が高まる中、化学工学会戦略推進センター次世代エネルギー社会検討委員会において、産業部門の超低炭素化のカギとなる鉄鋼・化学産業に着目し、鉄鋼協会との連携も含め、検討を進めてきました。今年度は部会横断型の研究会としてCCUS研究会も発足しました。本シンポジウムは次世代エネルギー社会検討委員会とCCUS研究会の合同シンポジウムとして企画し、GHG排出の大幅削減に向けた論点とその中でのCCUS技術の位置づけを展望します。

第1部 産業部門からのGHG排出大幅削減の可能性と課題

第1部では、GHG排出80%削減に向けたエネルギー需給の姿や、鉄鋼業の超低炭素化のための従来の延長線上にはない製鉄プロセスなどについて考えます。

第2部 CCUS技術の社会実装に向けた課題の俯瞰的整理

第2部では、CO₂の回収、利用、固定化技術の開発動向など幅広い講演を踏まえ、CCUS技術のGHG排出削減への寄与や、課題と道筋について議論します。

男女共同参画委員会企画
 「女性技術者フォーラム」

日時 3月16日(月)午後
 今回のフォーラムは、ミスター・ダイバーシティとも呼ばれる元カルビー(株)代表取締役会長兼CEOの松本見氏による招待講演、化学工学関連分野で優れた技術や研究業績をあげた女性に贈る女性賞の受賞講演および「微粒子と流体」をテーマとして当該分野で活躍する女性研究者および技術者による依頼講演から構成しました。フォーラムを通じて女性の技術者、研究者、学生の皆さんの交流の場を提供するとともに、キャリア形成について参考としていただくことを目指します。

人材育成センター 高等教育委員会企画
 「2019年度インターンシップ報告会および交流会」

日時 3月15日(日)午後
 企業のインターンシップ活動の紹介、研修生を直接指導した社員(メンター)からの研修状況報告、インターンシップ研修を修了した学生からの研修体験の発表を行います。またその後、情報交換や意見交換の場として交流会も行います。本報告会・交流会のみの参加学生は年会参加費無料です(但し他の年会のセッションには参加不可)。来年度のインターンシップ研修をお考えの学生や企業は是非参加して、情報収集にご活用ください。

福島復興・廃炉技術研究会企画
 「福島復興・廃炉技術シンポジウム」

日時 3月16日(月)午前
 本年度活動を開始した福島復興・廃炉技術研究会では、化学工学の立場から福島の復興と第1原子力発電所の廃炉に関する技術を検討しています。本シンポジウムでは、オンサイトにおける放射線汚染土処理など本研究会に関わる技術の開発状況について発表・討論を行います。

「若手研究者が考える
 未来の化学工学研究」

日時 3月17日(火)午後
 異なるバックグラウンドをもつ若手研究者同士が、研究ポスターを前に、歓談しつつも遠慮なく議論を交わす、そんな場を提供したいと思います。単位操作を基盤としたかつての化学工学は隆盛を極め、新たなフェーズへ移行する時期を迎えています。その枠組みを超越した未来の化学工学研究を、次世代を担う若手研究者が活力にあふれた発想に基づいて発信していきます。

「粒子・流体プロセス部会セミナー」

日時 3月15日(日)午後
 粒子・流体プロセス部会のセッションとして、特別講演ならびに部会賞受賞記念講演を行います。

事前参加登録方法

◇事前参加登録期間 第一期、第二期の違いと注意点

第一期は2020年1月31日で終了しております。第二期は2月1日～2月15日までwebにてお申込みいただけます。第二期では当日参加料金より懇親会料金のみ1,000円お安くなります。是非ご利用ください。
 第一期、第二期を跨いだお申込み、お支払はできませんので、ご注意ください。(例：第一期で大会参加のみ登録、第二期で懇親会を追加登録、はできません。この場合、懇親会は当日登録いただくこととなります。また、第一期でお申込みいただいたものの、支払期限日までにお支払いいただけなかった場合、そのお申込みはキャンセルとなります。第二期に改めてお申込み、お支払いいただくか、当日受付をご利用ください。)

◇事前参加登録時の会員資格チェック(個人会員)について

個人会員の方は、事前参加登録に先立ち、本年度年会費の支払い状況を確認いたします。当該webページにアクセスいただくためには会員番号とパスワードが必要ですので、予めご準備ください。事前参加登録いただく時点で本年度年会費のお支払が確認できない場合は、個人会員資格でのお申し込みはできません。年会費をお支払いいただいてからweb上で確認できるまで二週間程度かかりますので、未払いの方は早めにお支払ください。
 なお、会員資格の確認は当日受付でも行います。

また、大会当日受付での未払い分年会費のお支払ならびに新規入会を受け付けます。この場合、大会参加料金は当日参加料金となります。会員資格ならびに年会費支払い状況に関するお問い合わせは、化学工学会本部 (<http://www.scej.org/>) をお願いいたします。
 ※本大会で登壇される方(名誉会員、招待者、共

催学会の個人会員、対象海外学会の個人会員を除く)および参加(聴講のみを含む)する方で会員価格で参加登録される方は、本会2020年度(2020年3月~2021年2月)年会費のお支払いが必要です。ご注意ください。

◇事前参加登録のキャンセル(返金)について

第一期、第二期いずれでのお申込みによらず、第二期締切日(2020年2月15日(土)23:59)までであれば、webサイトからキャンセルしていただくことができます。この場合、ご入金いただいた参加費は返金いたします。

第二期締切日以降は一切のキャンセルならびに返金はできません。予めご了承ください。

なお、参加登録資格(会員種別等)の変更はできませんので、その場合は一度キャンセルしていただき、改めてお申込みいただくことになります。この場合、改めて申し込まれた期の料金が適用されますので、ご注意ください。

参加者の連絡先等の参加者情報(参加者名を除く)の変更は、随時webサイトより実施していただけます。

◇参加証の事前送付について

事前参加登録いただき期限までにお支払を完了された方には、大会開催までに参加証一式(参加証、プログラム集引換券、参加費領収書等)を事前送付いたします。

◇講演要旨の事前公開について

事前参加登録を完了された方(参加費等支払済みの方)に、大会webサイトにて講演要旨を事前公開いたします。公開日に、講演要旨をご覧いただくためのID、PWを事前参加登録された際に登録いただいた電子メールアドレス宛にお送りします。

本大会の講演要旨公開は、2020年3月2日(月)を予定しています。

◇講演要旨集について

講演要旨集はUSBメモリとして販売いたします(大会参加者に対する価格:3,300円/個)。大会参加費には含まれておりませんので、ご注意ください。

ご購入は事前参加登録時にお申込みいただき現地にて引換券と引き換えていただくか、あるいは現地で販売いたします。事前参加登録時にお申込みいただいたもの、現地でお引き換えいただけなかった方は、後述する問い合わせ先まで大会終了後にご連絡ください。別途郵送いたします。講演要旨集USBメモリの数には限りがありますので、ご希望の方は、是非事前参加登録時にご購入ください。

なお、講演要旨集は、講演要旨集USBメモリの購入有無にかかわらず本大会に参加登録された方皆さん、大会終了から3か月後にwebからダウンロード(無料;ディスクイメージファイル)いただけます。

大会に参加されず講演要旨集のみご購入を希望される場合は、本会会員は12,100円(税込・送料込)、本会非会員は23,100円(税込・送料込)で販売しております。お申込みは随時大会webより承りますが、現物の発送は大会終了後になります。

◇その他詳細について

大会webサイトをご確認ください。

参加費

大会参加費にはプログラム集(冊子;当日会場にてお渡しします)が含まれていますが、講演要旨集(USBメモリ)は含まれていません。ご注意ください。

大会参加費

会員資格	大会			懇親会		
	事前	当日	備考	事前	当日	備考
	第二期			第二期		
化学工学会個人会員の方						
正会員	12,000円	12,000円	不課税	6,000円	7,000円	課税税込
シニア会員	8,000円	8,000円		4,000円	5,000円	
永年会員	7,000円	7,000円		4,000円	5,000円	
教育会員	7,000円	7,000円		6,000円	7,000円	
学生会員	7,000円	7,000円		4,000円	5,000円	
海外正会員	12,000円	12,000円		6,000円	7,000円	
海外連携会員	12,000円	12,000円		6,000円	7,000円	
海外学生会員	7,000円	7,000円		4,000円	5,000円	
化学工学会法人会員に属する方・部会に属する方等						
法人会員(*1)に属する社員	15,000円	15,000円	不課税	6,000円	7,000円	課税税込
懇話会会員	15,000円	15,000円		6,000円	7,000円	
部会個人賛助会員	15,000円	15,000円		6,000円	7,000円	
部会法人賛助会員に属する社員	15,000円	15,000円		6,000円	7,000円	
(*1)維持会員、特別会員、特別地区会員						
他学会の個人会員の方等						
共催学会の個人会員	15,000円	15,000円	課税税込	6,000円	7,000円	課税税込
*2に記す海外学会の個人会員(学生を除く)	12,000円	12,000円		6,000円	7,000円	
*2に記す海外学会の個人会員(学生)	7,000円	7,000円		4,000円	5,000円	
(*2)AIChE:米国化学工学会、CIESC:中国化工学会、DECHEMA:ドイツ化学工学バイオ学会、KICHe:韓国化学工学会、TwICHe:台湾化学工程學會(略称アルファベット順)						
上記以外の方						
会員外	30,000円	30,000円	課税税込	6,000円	7,000円	課税税込

講演要旨集(USBメモリ)

会員資格	事前参加登録時同時購入 大会当日購入	大会終了後別途購入
本会会員 (個人/法人/部会個人・法人賛助会員)	3,300円/個(税込)	12,100円(税込・送料込)
本会非会員		23,100円(税込・送料込)

問合せ先

◇事前参加登録およびお支払方法に関するお問合せ
京王観光(株)東京中央支店
〒160-0022
東京都新宿区新宿2-3-10 新宿御苑ビル2階
(担当者:土橋(どばし)、イム、國分(こくぶん))

TEL:03-5312-6540 FAX:03-5379-0740
E-mail:scej.kta-tyo@keio-kanko.co.jp
営業時間 平日10時~17時

◇その他に関するお問合せ
化学工学会 第85年会 実行委員会
E-mail:inquiry-85a@www3.scej.org

第22回化学工学会学生発表会(東京大会・岡山大会)概要

主催 公益社団法人化学工学会
 共催 (A.東京大会) 同人材育成センター、北海道支部、東北支部、関東支部、東海支部
 (B.岡山大会) 同 中国四国支部、関西支部、九州支部、人材育成センター
 後援 (B.岡山大会) 岡山大学

日時・会場

(A.東京大会) 2020年3月7日(土) 9:30～
 於：中央大学後楽園キャンパス(東京都文京区)
 アクセス：<https://www.chuo-u.ac.jp/access/kourakuen/>

(B.岡山大会) 2020年3月7日(土) 9:30～
 於：岡山大学津島キャンパス(岡山県岡山市)
 アクセス：<http://www.est.okayama-u.ac.jp/access/access.html>

※開始時間は変更の可能性があります。各大会ホームページを参照ください。

一般発表プログラム

各大会のホームページを参照ください。

特別講演

(A.東京大会) 「熱帯沿岸生態系修復への挑戦－マングローブ植林による二酸化炭素固定と国際交流－」

成蹊大学 非常勤講師 加藤 茂氏

(B.岡山大会) 「40年間化学に携わって～大学と会社で学んだこと」

三菱ガス化学(株)水島工場 執行役員工場長・
 化学工学会岡山地区化学工学懇話会 会長
 毛戸 耕氏

参加予約 参加会場別に、各大会ホームページを参照してお申し込みください。参加費の振

込に関する詳細はホームページをご覧ください。振込は参加申込後、1週間以内にお願ひします。

参加予約申込締切 2020年2月14日(金)17:00まで(交流会を含む。これを過ぎますと当日参加料金となります。)

参加費

一般5,000円(当日6,000円)
 大学生3,000円(当日4,000円)
 高専生(4年生以降)2,000円(当日3,000円)
 高校生および高専生(1～3年生)無料
 高校生引率者1,000円

発表者助成 高専生、高校生対象に、旅費の一部を助成する制度があります。条件、申込方法などの詳細は各大会ホームページをご覧ください。

表彰 優秀者を表彰致します。原則全員審査対象となります。辞退する場合はお申し出ください。

交流会(参加費) (A.東京大会)(B.岡山大会)ともに、
 一般および高校生引率者2,000円(当日3,000円)
 大学生および高専生(4年以降)1,000円(当日1,500円)
 高校生および高専生(1～3年)無料

※アルコールはご用意致しません。

開催時間・会場

(A.東京大会) 17:30～19:00 中央大学後楽園キャンパス3号館食堂

(B.岡山大会) 17:30～19:00 岡山大学津島キャンパス 生協

※時間は変更の可能性が有ります。各大会ホームページを参照ください。

問合せ・申込み先

(A.東京大会) 第22回化学工学会学生発表会(東京大会)実行委員会

〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19 公益社団法人化学工学会 人材育成センター内

E-mail: inquiry-stu22e@www3.scej.org

ホームページ: <http://www3.scej.org/meeting/stu22e/>

(B.岡山大会) 第22回化学工学会学生発表会(岡山大会)実行委員会

〒700-8530 岡山県岡山市津島中3-1-1 岡山大学工学部化学系生命系学科粒子・流体プロセス工学研究室

E-mail: inquiry-stu22w@www3.scej.org

ホームページ: <http://www3.scej.org/meeting/stu22w/>

人材育成センター

2019年度インターンシップ報告会

主催 公益社団法人化学工学会 人材育成センター 高等教育委員会

2019年度インターンシップ参加学生、企業担当者、指導教員が集まり、意見交換、情報交換の場としてインターンシップ報告会を開催します。

生の声が聞けますので、関係者以外の参加も歓迎します。特に、本報告会および交流会のみに参加する学生は、第85年会参加費を無料と致しますので、インターンシップに興味のある学生は是非ご参加ください(※)。

※第85年会の他のセッションには参加できません。

日時 2020年3月15日(日)15:00～18:30

会場 第85年会会場内

対象 インターンシップを実施した、或いは、興味がある学生、今後インターンシップを検討している企業の担当者、及び、本報告会に関心がある方々。

スケジュール

- 挨拶及び2018年度実施報告(15:00～15:10)
 高等教育委員会副委員長
 インターシップ担当
 (株)カネカ 吉見智之氏
- 企業報告(15:10～15:50)
 1～2件予定(調整中)
- 受入企業メンターからの報告(15:50～16:10)
 1～2件予定(調整中)
- 学生成果発表(16:10～16:50)
 3～5件予定(調整中)
- 交流会(17:00～18:30)

修了証授与式：人材育成センター長より授与
 ※スケジュールは調整中につき、変更の可能性があります。決定次第、ホームページに掲載致します。

定員 100名

参加費 無料

本報告会および交流会のみに参加する学生は、第85年会参加費も無料です。但し当日、年会受付で受付をお願い致します。

なお、学生以外の方、年会の他のセッションで発表または聴講する学生は第85会の参加登録が必要です。

準備の都合上、下記URLからのご登録をして頂きます。

<https://service.kktcs.co.jp/smms2/c/scej/event/EventList.htm>

部 会 C T

第8回「若手研究者・技術者を対象とした工場見学および交流会」

主催 化学工学会粒子・流体プロセス部会
共催 化学工学会関西支部
協賛 化学工学会男女共同参画委員会

本交流会は、若手研究者および技術者の育成を図るために、企業で活躍中の若手・女性技術者と直接交流することによって、男女を問わず卒業後のキャリアパスに対するイメージアップを図ることを目的としています。また、企業の若手・女性研究者相互の対話を通じて本分野の研究・開発の活性化と育成を支援する企画です。

今回は、「協創イノベーションの実現に挑戦する場」として2015年に「テクノロジー・イノベーションセンター」を開設されたダイキン工業(株)で実施します。フッ素モノマー精留塔、フッ素ゴム後処理設備、樹脂プラントの制御室の見学や企業の管理者、若手・女性技術者から反応プロセス開発へのAI活用、溶融樹脂押し出し設備を対象としたCFD活用事例の紹介等の話題提供を頂きます。多数の方のご参加をお待ちしております。

日時 2020年2月21日(金)13:45～

場所 ダイキン工業(株)淀川製作所(大阪府摂津市西一津屋1-1)

プログラム

受付開始 13:30

- 開会の挨拶と事務局案内 13:45～13:50
ダイキン工業(株)化学事業部(製造担当)
副事業部長 今西博之氏
- 基調講演 13:50～14:35
「高分子溶液のマイクロフルイデイクスとマイクロレオロジー」
神戸大学大学院 工学研究科 応用化学専攻 日出間り先生
- 工場見学(製造所の紹介と工場見学) 14:35～16:10
挨拶&会社紹介:ダイキン工業(株)
化学事業部プロセス技術部長 仙波靖英氏(途中小休憩)
- 企業の若手・女性技術者からの話題提供 16:10～17:10
「反応プロセス開発へのAI活用」
ダイキン工業(株)化学事業部プロセス技術部 野口敦史氏
「溶融樹脂押し出し設備を対象としたCFD活用事例の紹介」
ダイキン工業(株)化学事業部プロセス技術部 矢野浩之氏
「CFD、DEMを用いた様々な攪拌プロセスに対する検討事例」
(株)ダイセル 事業創出本部 生産技術センター 糸見明徳氏
- 全体討論と事務局連絡 17:10～17:20

懇親会会場に移動 17:20～17:40

6. 交流会 17:40～19:00

対象 若手PD, 博士課程学生, 修士, 学部学生, 企業に入社数年の若手研究者および技術者
定員 40名程度
尚、見学先と同業の方のご参加はご遠慮いただきたく、お願い申し上げます。

参加費 講演会 無料, 交流会 5,000円(学生無料)
参加申込 2月7日(金)までに、お名前, 勤務先, 所属部署, 連絡先(所在地, Tel, Fax, E-mail), 交流会出席の有無を、下記へE-mailでお送りください。

申込先 公益社団法人 化学工学会 若手・女性育成プロジェクト事務局 伊奈智秀
TEL: 079-274-4063 FAX: 079-274-4106
E-mail: tm_ina@jp.daicel.com

令和2年度粒子・流体プロセス部会総会・部会セミナー

昨年度より部会セミナーは、部会総会とともに年会のセッションの一つとして開催します。粒子・流体プロセス部会賞各賞の受賞講演のほか、招待講演を行います。多数の方の参加をお待ちしております。

日時 2020年3月15日(日)13:30～17:10

場所 関西大学 千里山キャンパス X-51セッション(会場は未定)

スケジュール

- 部会総会
13:30～13:40 受付
13:40～14:20 総会および部会各賞表彰式
部会セミナー(講演会)
14:20～14:30 開会の挨拶
化学工学会 粒子・流体プロセス部会 部会長 後藤邦彰
14:30～15:10 【奨励賞】受賞講演
バッチ式フリーザーにおける攪拌速度がアイスクリーム特性に与える影響
静岡県立大学 食品栄養科学部 増田勇人氏
15:10～15:50 【フロンティア賞】受賞講演
化学反応前後の流体の物性値では予測できない高分子反応流の流動ダイナミクス: ATR-FTIR分光法による分子診断を伴う流体力学
東京農工大学大学院 生物システム応用科学府 長津雄一郎氏
15:50～16:00 休憩
16:00～17:00 招待講演
マイクロ流体デバイスによる粒子・細胞のセンシングと分取機構
京都大学大学院 機械理工学専攻 巽 和也氏

17:00～17:10 閉会の挨拶

化学工学会 粒子・流体プロセス部会 副部会長 庄野 厚

交流会 17:30～19:50

ICHIRIKI(大阪府吹田市千里山東1-16-3-1F)
<https://ichiriki-kandaimae.jimdo.com/>

参加費 セミナー:無料 交流会:2,000円(税込)
申込方法 氏名, 所属, 連絡先(所在地およびTEL, FAX, E-mailなど), 交流会参加の有無を明記の上, E-mailにて下記申込先までお申し込み下さい。

申込締切 2020年3月2日(月)

申込先(問合せ先) 化学工学会 粒子・流体プロセス部会 部会セミナー担当 岩田修一
〒466-8555 愛知県名古屋市長和区御器所町 名古屋工業大学大学院 生命・応用化学専攻 岩田修一
E-mail: iwa@nitech.ac.jp

第21回気液固分散工学サロン

主催 粒子・流体プロセス部会 気泡・液滴・微粒子分散工学分科会

日時 2020年3月17日(火)17:00～18:00(分科会総会終了後)

講演会の後、交流会を開催いたします。

会場 未定(関西大学千里山キャンパス 化学工学会第85年会会場内)

講演者 岡山大学自然科学研究科 三野泰志氏
講演題目 実験を好む研究者によるコロイド分散系流れのシミュレーション

概要 コロイド分散系を対象とする実験を主に行っていた講演者が、数値シミュレーションに興味を持ち、これまでに行ってきたモデル開発と解析結果について紹介する。数値シミュレーションの専門家ではなく、実験を好む研究者としてのモデルのこだわりや適用事例、今後の展開について述べたい。

参加費 正会員 4,500円, 学生会員 3,000円(予定)

申込み 参加ご希望の方は

- 氏名
- 勤務先・所属
- 連絡先(E-mail)
- 交流会出席の有無を明記の上、下記宛にE-mailにて3月5日(木)までにお申し込み下さい。

申込先 慶應義塾大学 藤岡沙都子(気泡・液滴・微粒子分散工学分科会企画幹事)
TEL: 045-566-1632 FAX: 045-566-1575
E-mail: fujioka@apple.keio.ac.jp

地 域 C T



中国四国支部

第21回化学工学基礎講習会 (初習者対象)

共催 化学工学会中国四国支部、山口地区化学
工学懇話会

日時 2020年3月26日(木)、27日(金)、30日
(月)10:00～17:00

会場 周南市賑わい交流施設(周南市)

プログラム(予定):順序は変わる可能性があります。

3/26

・化学工学基礎の基礎
・流動・流体操作

3/27

・粉体工学
・蒸留

3/30

・反応速度・反応操作
・熱移動・熱移動操作

詳細はホームページをご覧ください。

参加費 会員 25,000円、非会員 47,000円
申込締切 3月5日

求 人

☆大阪大学大学院基礎工学研究科物質創成専攻 募集☆

募集人員: 准教授1名

専門分野: 理論化学

応募資格: 博士の学位を有する方

応募締切: 2020年2月28日(金)必着

問合せ先: 西山憲和 TEL: 06-6850-6255

E-mail: nisiyama@cheng.es.osaka-u.ac.jp

「化学工学」誌会告欄執筆基準の周知について

化学工学誌における会告原稿について下記の基準を設けております。情報伝達の効率化とスリム化のための措置であり、特段のご配慮を戴きたくお願いいたします。(なお、原稿は掲載月の前々月25日迄に、[日本印刷\(株\)\(秋山\)](#)、E-mail <edit@npc-tyo.com>までWORDの添付ファイル形式でお届け下さい。)

尚、会誌掲載原稿は学会のホームページにも掲載します。

記

特に記載のある場合以外はすべての案内記事を1回掲載とし、会告欄掲載以降は実施月までカレンダーに掲載し、案内収録号参照とする。一つの案内記事内に重複情報は入れないように配慮する。

(本部関係)

- 集会(年会、秋季大会)、参加案内記事
 1. 講演募集およびシンポジウムテーマ募集は1回掲載
 2. 参加募集は3回掲載(内1回は予告)
 3. プログラムは1回掲載
- 会費納入案内は3回掲載
- 総会案内は2回掲載

(支部・各部門関係)

- 支部大会参加案内記事
 1. 講演募集は1回掲載
 2. 参加募集は2回掲載
 3. プログラムは1回掲載
- その他集会(講習会、講演会、学生行事など)
 1. 1回掲載とする。
 2. ア) 内容プログラムがある場合は前文は書かない。(企画意図、開催意義などはプログラム内容で判断できる。)イ) プログラムがなく内容説明が不可欠の場合は数行程度で簡潔に記載する。(会告記事としてあたりまえのことは記載しない。例：多数の参加をお待ちします。一会告を出すのは参加を呼びかけるのが目的であるからこのような記載は不要—)
 3. 内容プログラムは実質部分のみとする。(羅列的に記述せず、内容としての要点のみとする。一例：開会・終了挨拶などは削除)
 4. 参加要領等(参加申し込み方法、参加費支払方法など)は必要最小限の情報とする。

求人情報

- 必要最小限の情報(機関名・人員・専門分野・応募資格・応募締切日・問合せ先・TEL・E-mail等)にとどめる。

共催・協賛行事等案内

- 原則として、カレンダーのみとする。

図書等(学会＝本部・支部刊行)案内

- 内容を数行で紹介することを標準とする。(目次の羅列的介绍は行わない)

追記：上記基準を逸脱している原稿については、情報サービスセンター長の判断で内容変更を伴わない配慮をした上で短縮します。

以上